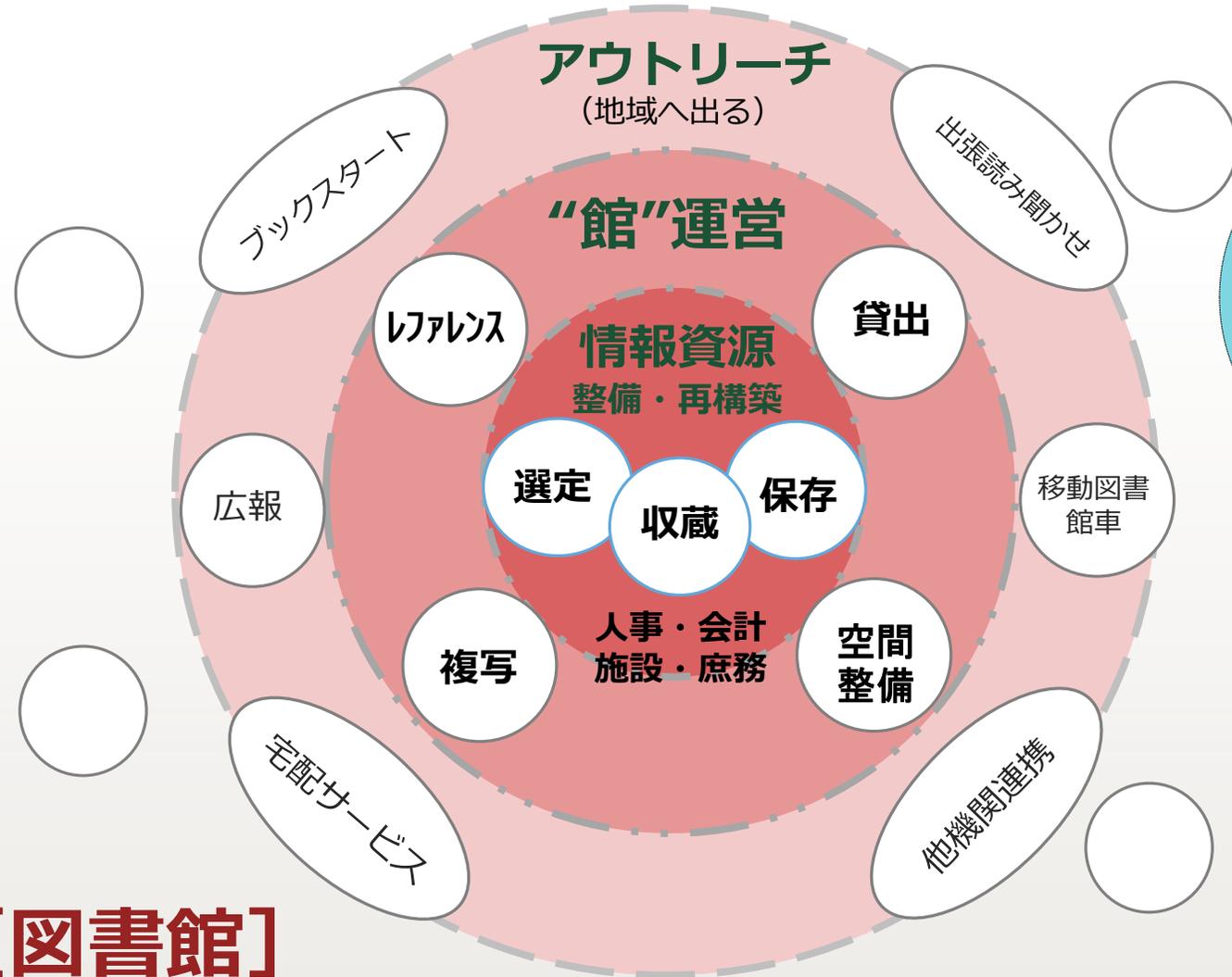


“情報” と “ひと” をつなぐ



—「方法」ではなく「考え方」を知る—

【市町村立図書館の業務地図イメージ】



【図書館】



【連携先】

(サービスを充実させていくための)

借りたい人

さがしている人



貸し出す

図書館の自由

利用者の秘密を守る / 場面に応じた「自由」の存在

一緒にさがす

フロアワーク

31条 / 「義務」じゃない / 著作権者の権利

複写する

著作権

カウンターから出よう / 相手に応じた提案 / 探し方を伝える / 他の情報源の存在 / 棚を作る

選ぶ

リクエスト

選書基準 / 蔵書構築 /

相互貸借

制度 / ルール (広域・対県立) / 送料 / ツール (横断検索・NDLサーチ)

しらべる

レファレンス

求めているものを聞き出す (インタビュー) / 所蔵照会への対応 (MARC、NCR) / 県立へ



貸し出す

図書館で仕事をするうえでの基本的な姿勢

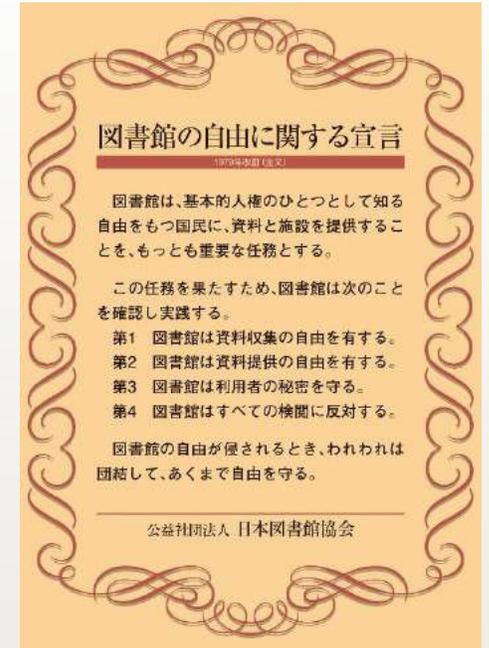
「図書館の自由に関する宣言」(主文) 1954年採択 1979年改訂

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することをもっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。



なぜ、「図書館の自由」は大切なんだろう？

読書の履歴、利用の状況 = 「個人情報」

たとえ家族に対してでも、知られることによって生活に多大な影響が生じることもある

たとえば…

- ・個人経営の企業家が、図書館でガンの治療法の本を借りていた。
- ・妻が離婚の手続きや財産分与に関する本を予約していた。
- ・警察が事件の手がかりとして求めた、ある思想についての本の貸出者リストに自分の名前があった。



一緒にさがす

「事件は会議室で起きてるんじゃない！**現場**で起きてるんだ！」

求めているものを聞き出そう

他にないかな？

空間を整えよう

カウンターを出よう！

利用者を 手ぶらで帰さない



求めるものの「かたち」は変わっても
求める情報が同じなら・・・

「無い」ってことも大事な情報の一つ



複写する

「著作権って
ムズカシイよね…」
だけど!

まずは、最低限の概要を自分で把握しよう

図書館で複製ができるのは、文化の発展のために著作者の権利に制限をかけているから。

→図書館が**権利を与えられているのではない。**

■ 著作権法第31条（図書館等における複製）

複製行為の主体が図書館であること

営利を目的としないこと

その図書館の資料を用いて行うこと

■ 困った時のお助けサイト

- ・ 著作権なるほど質問箱 (文化庁)

<https://pf.bunka.go.jp/chosaku/chosakuken/naruhodo/index.asp>

- ・ 31条の運用に関する2つのガイドライン (日本図書館協会)

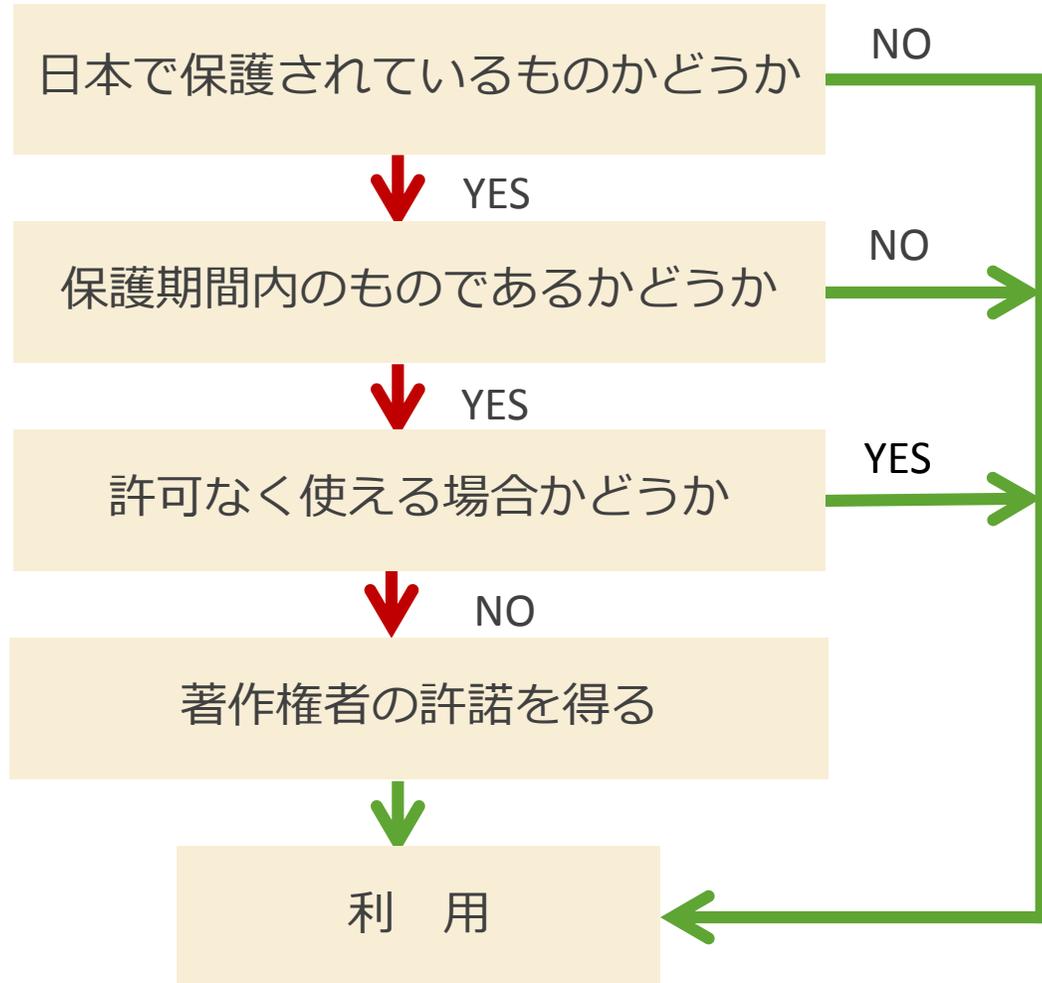
<http://www.jla.or.jp/library/gudeline/tabid/239/Default.aspx>

- ・ 読み聞かせ団体等による著作物の利用 (児童書出版者・著作者懇談会)

http://www.jidoubungei.jp/_src/22224206/yomikikase2017all.pdf?v=1541595958150

まずは
このあたりから!

複写できるか迷ったら…



考え方のフローチャート

文化庁> 政策について > 著作権 > 著作権制度に関する情報 > 著作権制度の概要 > 著作物の正しい利用方法

<http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/riyohoho.html>

文化庁> 政策について > 著作権 > 最近の法改正等について > TPP11協定の発効に伴う改正 > 著作物の保護期間の延長に関するQ&A

http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/hokaisei/kantaiheiyo_chosakuken/1411890.html

たぶん、いちばん大切なこと

“きまり”があるの？

“正解”があるわけではない：「著作権法」の解釈を選ぶ

“どこに”書いてあるの？

色々な解釈がある：どれを選ぶ？確度の高い情報源は？
どう解釈すべきか書かれていない事例だってあるかも。

“誰が”決めるの？

あなた（の図書館）が判断し、決める（選ぶ）

選ぶ / 買う・取り寄せる

使う人をイメージする・使われ方を考える

自分の館にどんな本があるか知ってる？

蔵書構成
(分類別・種類別)

特徴 (強み・弱み)

だれが選んでる？

図書館員？
書店？
TRC？
利用者？

選んだ理由を説明できる？

誰に、どんな風に使って欲しい？

**どんな図書館で
ありたいか？**

利用者が求めているものに応えるには？

リクエスト（購入）

- 自館ルールを確認
回数、価格、内容...
- 判断
類書の有無、蔵書構成...

蔵書となる

相互貸借（取り寄せ）

- ルールを確認
依頼の仕方、依頼先の選び方、費用負担、心構え
- 依頼先の探し方
 - 自治体内ネットワーク
 - 広域ネットワーク
 - 長野県内横断検索
 - Shinshu Book Search
 - 国立国会図書館サーチ

蔵書にならない



どちらを選択
するかは、
その時々
に判断する



しらべる

まずは、「所蔵照会」にきちんと対応できるようになろう

「本の情報」
(書誌)に
含まれる項目を
知っておこう

図書館システムを
使いこなそう

選んで
検索しよう

必要な情報を
的確に探し出す
スキル

なぜヒトラーを阻止できなかったか : 社会民主党の政治行動と
イデオロギー / E. マティアス著 ; 安世舟, 山田徹訳

東京 : 岩波書店, 1984

357, 7p ; 19cm. - (岩波現代叢書 ; 99)

ISBN 4-00-004768-X : ¥2000

t1. ナゼ ヒトラー オ ソシ デキナカッタカ t2. イワナミ ゲンダイ ソウショ 99

a1. マティアス, エリッヒ a2. ヤス, セイシュウ a3. ヤマダ, トオル

s1. ドイツー政治・行政 s2. ドイツ社会民主党 ①234.072

意識して「検索」をやってみよう！



木の幹と葉っぱの写真を持参…「この木の名前を調べたいんですが。」

あなたならどんなキーワードで調べますか？

「 」 「 」 「 」



「“信州小学校”の記念誌を見たい。」

OPACで、どの項目を使って検索しますか。（✓）

「書名」、「著者名」、「出版者」、「件名」、「分類」、「出版年」「全項目」

図書館の「分類」を理解しよう！

現在の公共図書館は、ほとんどの館が

「NDC（日本十進分類法）」を使っています。



【やってみよう】下記の本の分類番号はなんでしょう？

『賢治と鉱物；文系のための鉱物学入門』

加藤碩一著, 工作舎. 2011

図書館に期待するのは、
“情報”と出会えること

本を手にする「人」をイメージしながら仕事をしよう

